季節風

2017.4.27
NO.3
山鹿市立鹿北中学校
文責：郡　一路

鹿北中、コミュニティースクールへ移行

今年度より、鹿北中はコミュニティースクール（熊本版）へ移行します。

コミュニティースクールとは、**保護者や地域の方々が参加する運営協議会を設置し、学校の教育課題等を共有し、その解決や改善に向けて、共に話し合い、協力し、教育に当たる仕組み**のことです。協議会は、鹿北小学校と合同で行っていきます。

コミュニティースクール移行の目的は、次の三点に示すような、**地域と学校の関係づくり**を目指すためです。

一　学校と地域が一体となって子どもを育む「地域とともにある学校」づくり。

二　地域全体で「学び」を展開し、「子どもも大人も育ち会う教育環境」づくり。

三　学校を核とした「協働」の取組を通して、地域の将来を担う人材育成と、自立した地域社会の基盤づくり。

地域と学校がパートナーとして、共に子どもを育て、共に地域を創るという理念を共有し、地域の教育力を結集し、鹿北を発展させていきたいと考えています。

また、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を**「地域学校協働活動」**として積極的に推進していきたいと考えています。

そのための中心機関として、**「地域学校協働本部」**を設置していただいて、地域の方々が学校教育に参加しやすい環境を整えていきます。

鯉のぼり、泳いでます

今日から、中学校の屋上に鯉のぼりが泳いでいます。青空に気持ちよさそうに泳いでいます。子どもたちの成長を祈るとともに、「逆風に負けない」という意味が込められています。今の熊本を象徴する鯉のぼりです。

三年生、朝の勉強会、頑張ってます！

三年生は、現在、毎朝七時五十分から始まる朝の勉強にチャレンジしています。真剣に問題に取り組む姿を見ていると、「さすが、三年生」と感心します。鹿北中の三年生は、生徒会活動、挨拶、学校行事、部活動など、学校生活の様々な場面でリーダーシップを発揮しています。

特に、生徒会活動は、北原生徒会長を中心に、今までにない新しい発想で、鹿北中をさらに活性化させようと頑張っています。三年生が、鹿北中の新たな伝統を創ることを楽しみにしています。

鹿北小中学校運営協議会委員

鹿北小中学校合同運営協議会の委員として、山鹿市教育委員会より次の皆様に委員の委嘱をさせていただきました。鹿北小・中学校はこれから、小中連携から小中一貫へと９年間の連続した「学び」を、地域の方々とともに創っていくこととなります。今後の学校運営に対して、たくさんのご意見をいただくとともに、協働して学校を、また地域を発展させていくために、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

齋藤　順孝	（元小学校校長）
中川　和夫	（鹿北区長会長）
竹熊　榮子	（主任児童員）
北原　チヅ	（市職員）
島北　皎誓	（元山鹿市教育委員）
立山　憲介	（元鹿北総合支所長）
信末　知也	（鹿北駐在所）
中嶋　勇樹	（社会福祉協議会）
中満　恭二	（元体育指導員）
陶山　えつ子	（元鹿北健康施設所代表）
稲葉　英徳	（鹿北小学校ＰＴＡ会長）
梶山　竜太	（鹿北中学校ＰＴＡ会長）
瀬口　英子	（保育園代表）

※　敬称略